

学校 教育 目標	自主自立 ・ 食育健康 ・ 合意形成 ○ 学びを生かす中で、自分で考え判断し、適切な表現や行動がとれる力を育みます 【知・徳】 ○ 食育の大切さを理解し、自他の生命・心身の健康を大切に伸ばしていく力を育みます 【体】 ○ 互いの違いを認め合う中で、共に合意形成できた経験を積み重ね、課題解決できる力を育みます 【公・開】			
	学校概要 創立 74 周年 学校長 副校長 2 学期制 一般学級：9 個別支援学級：2 児童生徒数： 人 主な関係校：平沼小学校・浅間台小学校（他に県立横浜平沼高校とも関係あり）			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<input type="checkbox"/> 意思疎通・合意形成が図れる生徒 <input type="checkbox"/> 課題解決能力を高めようとする生徒 <input type="checkbox"/> 自己肯定感を持った生徒 <input type="checkbox"/> 自己実現に向けて努力する生徒	岡野中学校 平沼小学校 浅間台小学校	自己肯定感を持ち、自ら学び、社会とつながり、ともに未来を創ろうとする人 ☆確かな思考力と判断力を持たせるために必要な学力を授業で身に付けます ☆自分の考えを述べ、話し相手を納得させられる説明ができる力を身に付けさせます ☆合意形成を図るうえで、折り合いが付けられた経験を多く積ませます ☆自分の心身の発育を意識して取り組める教育課程を編成します ☆規範意識の醸成が図られる学校行事や教育活動を充実させます

中期 取組 目標	子どもが主役となる企画・演出のできる教職員を育成 <input type="checkbox"/> 授業力の向上を常に図り、自発的学習（家庭学習）の充実を実現し、学びの連続性を持たせた学力の向上を図る ～主体的・能動的な学習への取り組みのできる生徒を授業で育てます <input type="checkbox"/> 教育相談などの個別指導支援を充実させ、組織的に個に寄り添う指導を実践し、生徒個々の夢を実現する ～特別支援教育をはじめとした、個々への支援が確実にいられるよう、情報の共有と活用を推進します <input type="checkbox"/> 外部人材の発掘と活用及び連携を図り、地域とともに子供を育てるセンター的役割を果たします ～地域の教育資源・人材を最大限活用した学校経営を推し進めます
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 学習指導部	①「主体的・対話的な深い学び」を多く取り入れた授業実践 ②学びを生かした経験を積みませ、工夫や学びを語る生徒の育成 ③生涯にわたり学び続けようとする意思表示ができる生徒育成
豊かな心・情操 担当 学習指導部	①自己肯定感・自己有用感を持ち、自己実現に向け努力する生徒の育成 ②自他の人格を尊重し、違いを認め合い、感謝の心を持つ生徒の育成 ③礼儀や規律を重んじ、仲間や地域社会への貢献活動を実践する生徒の育成
健やかな体・食育 担当 保健指導部	①心身の健康を大切に、運動に親しむ習慣を身に付けさせるための手立てを教育課程に位置付ける ②食に関する知識や技能を持ち、日常生活に生かしていける生徒の育成 ③行政や地域・保護者と連携しながら、生涯にわたって健やかな体づくりができる策を模索する
生徒の自立 担当 生徒指導部	①教育相談・教科相談、保護者同伴面談など生徒個々の課題解決に向けた時間を確保する ②具体的な生徒への関わり方について研修会や学年会で検討し、チームで関わることを徹底する。 ③将来の自己実現に向け確実にその方向に変容しているかを確認しながら継続的指導を実施。
地域との連携 担当 教務部	①地域の方々との顔のわかる関係づくりの大切さを理解した教職員の育成 ②学校行事や授業へ地域の方々の参加協力が頂ける企画を地域コーディネーターと連携し進める ③小中学校の一貫した教育活動を推進する
特別支援教育 担当 特別支援教育推進委員会	①特別支援・指導計画を見直し、効果的な支援を考える ②指導実践を積み重ね、学校での支援の質を上げる ③合理的配慮を構築するためにも、合意形成は欠かせない。保護者理解が得られる支援を続ける
教育環境整備 担当 事務管理部	①生徒の目に入る掲示物をはじめ、環境整備が育成したい生徒の資質能力と関連付けて推進する。 ②ICT機器をはじめとした情報関連機器の活用を推進する。 ③限られた予算、少ない部屋数ではあるが、効果的な運用を目指す。
グローバル 持続可能 担当 教務部	①国境のないグローバルな感覚育成に向けた授業や行事を教育活動に取り入れる。 ②多様性を認め、協働・共生する社会を形成しようとする生徒を育成する。 ③行政・地域・企業などとも積極的に連携し、持続可能な社会形成の一員を目指す生徒の育成。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①基本となる学級集団や学年集団の意義を理解し、生徒自ら課題解決できる力を身に付けさせる。 ②いじめ根絶に向けた学校風土づくりと、組織連携と指導体制の確立に全教育課程で取り組む。 ③早期発見・早期解決・再発防止・関係改善を常に意識し、福祉・医療との連携を強化する。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務部	①教科指導・学級指導の力量をアップさせることを育成の基本とする ②生徒・保護者からの信頼が得られるまでが育成の目標到達点 ③業務に対する使命感・責任感、更に誇りを持ち、校務の見直しや効率化が図れる人材に育成する